

シリーズ歴史を学ぶ ①

# 二神島 全三卷

## 第③卷 発掘調査の実際

二神家墓地遺跡発掘現場から  
＝学術的調査発掘の手引き＝



### ●解説

日本では、一年間に1万件をこえる発掘調査が行われているという。発掘調査には、学術調査と行政調査の2種類がある。学術調査は、はじめから学問的な解明のために計画して行う調査である。併せて遺跡を保存整備し、後世に残すことを目的としている。第3巻では、学術的な発掘

調査をどのように行うのか、発掘前の準備作業（地図測量図、等高線図の作り方、調査区の設定等）から発掘（遺物の取り上げ方、出土状況の記録等）、発掘後の現場の保存整備（写真撮影、養生等）まで、愛媛県・二神島墓地遺跡の実際の発掘現場を通して、順を追って解説していく。

シリーズ歴史を学ぶ1

# 二神島

全3巻

解説資料

<目次>

二神島地図 .....	2
用語解説 .....	2
壬申戸籍について…網野善彦（歴史研究者） .....	5
日本常民文化研究所による二神島研究調査の経緯（年譜） .....	6
二神家墓地遺跡発掘調査 墓碑位置概念図 .....	7
参考文献 .....	8

シリーズ歴史を学ぶ1 二神島 全3巻

第1巻 海で結ばれた世界 瀬戸内海 二神島

監修：神奈川大学日本常民文化研究所

第2巻 海の民の歴史 二神家の歴史を通して

監修：神奈川大学日本常民文化研究所

第3巻 発掘調査の実際 二神家墓地遺跡発掘現場から

監修：神奈川大学日本常民文化研究所 鶴見大学文学部文化財学科 東国歴史考古学研究所